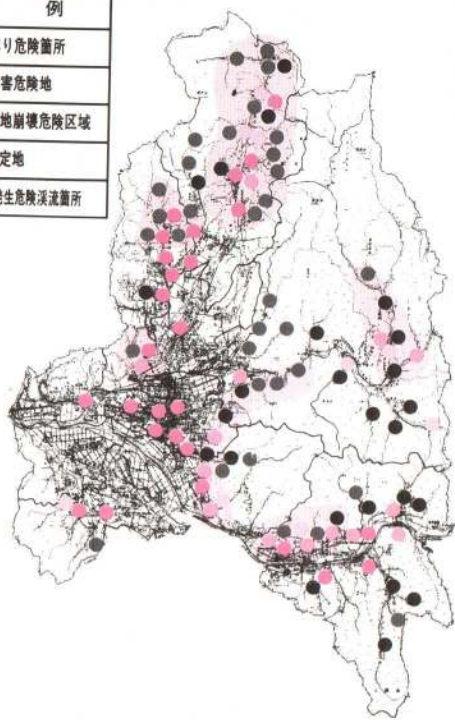
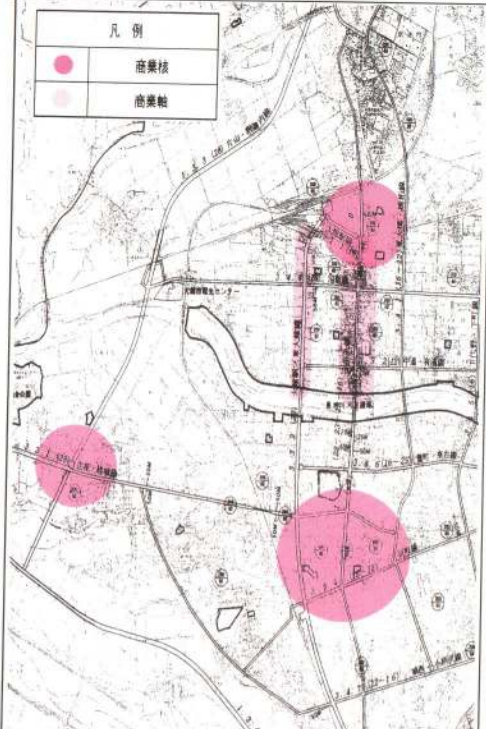


凡 例	
●	地すべり危険箇所
●	山地災害危険地
●	急傾斜地崩壊危険区域
●	砂防指定地
●	土石流発生危険渓流箇所



防災強化対策が望まれる区域

凡 例	
●	商業核
○	商業軸



商業核の位置に関するダイアグラム

b. ダメージコントロールの確保
 ▼災害発生時における「ダメージコントロール（災害対応策）」として、災害危険性と人口の集中度に基づき適切な避難場所の確保と、的確・有効に機能する活動方策を確保、充実させる。

c. 水害予防計画の実施
 ▼治山対策として国有林野の保全推進、保安林の適正配置、水源かん養保安林の造成を積極的に推進。治水対策として、秋田県による「長木ダム」の建設・整備を積極的に働きかける。

⑦文化財・名勝・史跡の継承の促進

▼貴重な自然を守り、保全するとともに、大館固有の各種文化財・名勝・史跡等についても、その周辺地域を含めた保全を促進。

⑧大館駅周辺地区の高度利用の促進

▼JR大館駅前、市の顔とイメージされる場所であることから、その高度利用を積極的に推進。

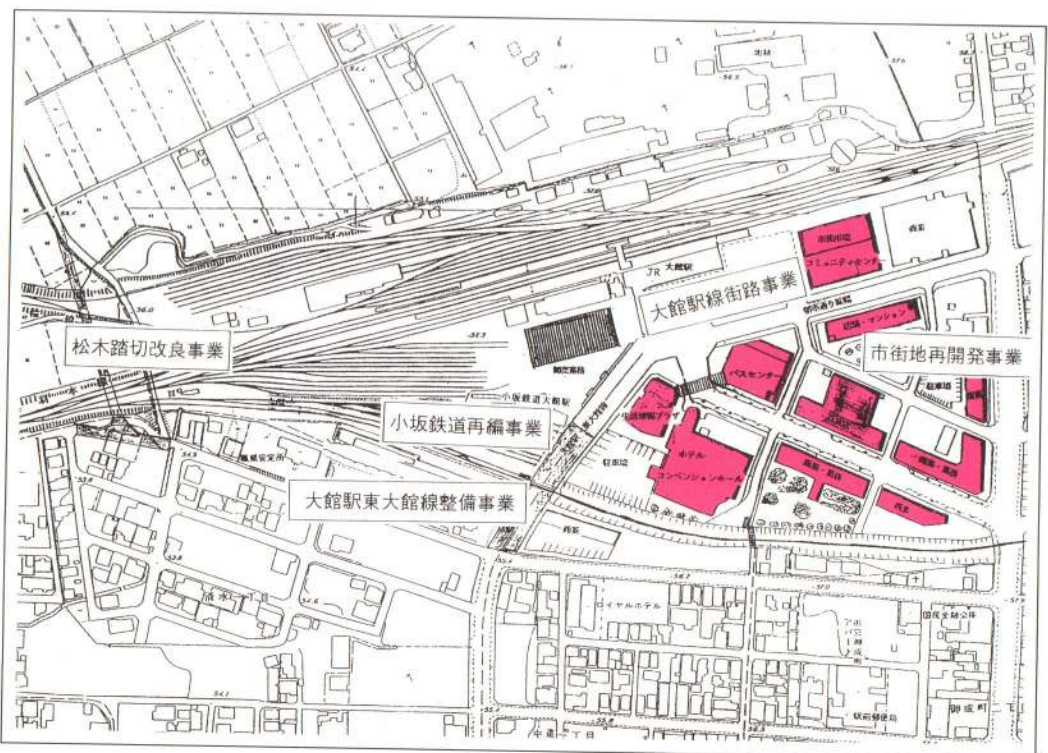
⑨鉱山関連跡地の積極的高度利用の促進

▼鉱山関連の未利用地を積極的に有効・高度利用し、新しい大館をけん引する拠点とする。

▼花岡地区は、鉱業の低迷で、新しく土地利用計画すべき必然性が高く、また、高水準の廃水処理技術を有することから、同地区の再整備テーマを「リサイクル」とし、『環境共生モデルタウン』として、活力を喪失している地区の、文字通りリサイクル（再生）を目指していく。

▼具体的には、
 ・廃棄物資源化センターの整備推進。
 ・リサイクル・マインパーク構想（注1）、アーバンマイン構想（注2）への積極的取り組み。

・花岡ニュータウン及び新規住宅地を舞台とした環境共生モデル住宅地として整備推進。



▲大館駅地区周辺整備イメージ

▼具体的には、
 ・デル住宅地として整備推進。
 ・市営花岡第二工業団地の「リサイクル・インダストリアルパーク」（注3）としての整備、及び積極的な企業誘致。

▼長期的には、環境管理に関する人材育成のための高等教育機関の創設も検討。
 ▼市域全体に及ぶには長期的な取り組みになるが、「リサイクル」というテーマの中の新しい試みを通じて、固有の価値、情報を広く外に対して発信し、市民の誇りを醸成していく。
 次回は「交通整備計画」について掲載の予定です。

注1. 非鉄金属鉱山の閉山した設備の活用を図る構想。 注2. 都市内にある金属を資源として再活用を図る構想。 注3. リサイクル的基盤が生産において必要とされる企業及びリサイクルそのものに関する業務を行う企業等が、その価値を見出し、集積する工業団地。